

平成 28 年度

事 業 報 告 書

特別養護老人ホーム梨花の里
梨花の里ホームヘルパーステーション

平成28年度特別養護老人ホーム梨花の里事業報告

1 事業内容

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） 定員60名
短期入所生活介護（空床利用型）
介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

2 運営方針及び事業目標について

平成28年度は、地域貢献活動と施設ケアの発展を重点目標として事業を行った。

地域貢献活動については、施設を開放して行っている地域の方の体操教室を毎月2回、計24回行った。参加人数は、年度の始めは参加者が多く、多い時には20名、後半は少し参加者が減少し、年間平均としては16名以上の参加があった。ロコミや、現在の参加者の誘いで参加される一方、年齢や家庭の事情で参加を断念する方もおられた。また、10月より第3木曜日の開始前に、施設職員（生活相談員、介護職員、看護職員、管理栄養士、機能訓練指導員、ホームヘルパー提供責任者）が介護予防教室として、介護保険制度や施設、事業の説明、感染予防や食生活について等の講座を行った。参加者の皆さんは、介護予防の運動だけでなく、介護が必要にならないための注意点や、家族などで介護が必要になった時の対応、相談窓口などが分かったとのことでも好評だった。

豊北町社協が開催した栗野の徘徊模擬訓練では、施設での介護・ケアの経験を踏まえ徘徊者役として生活相談員が参加した。地域の方が徘徊をしていると思われる高齢者等にどのように声掛けをし、対応したら安心するかを伝えることが出来た。

施設ケアの発展については、科学的介護の実践と認知症ケアの実践を継続、見直しすることを中心に行い、入居者の皆さんにとってよりよい生活が送れるケアを行うよう施設全体で取り組んだ。

食事については、管理栄養士、調理員、介護職員、看護職員が共同して、入居者一人一人の状態に合わせた食形態、食事量の提供を行った。特に、入居者の皆さんに目で見えて楽しんで頂けるように、ミキサー食の方へ出来るだけ形の分かるもの（ムースに近い状態で）を提供した。食べられた入居者のみなさん（8名）の声、職員の声、感想は、「ミキサーでかけた食事よりも摂取量が多く、のみ込みも良かった」とのことだった。

バイキング料理や季節毎の行事食、毎月の食事作りも昨年に続いて年間を通して実施した。特にバイキング料理は好評で、数種類のメニューの中から量を気にせず好きなものを好きなだけ食べられる、選んで食べる楽しみをみなさん感じておられるようだった。

運動については、機能訓練指導員（理学療法士）を中心に入居者の皆さんに応じた個別の機能訓練計画を作成し、実施した。また、月に1~2回、機能訓練指導員の指導のもと地域交流スペースにて運動教室を行い、ボール蹴りや玉入れなどの運動を行った。

認知症ケアについては、認知症介護実践者リーダー研修や認知症介護実践者研修に参加した職員を中心に、職員会議等で認知症介護の研修を行い、認知症介護の基本から実践までを施設全体で理解、共通認識として持ち、ケアに活かすことが出来た。

「施設で最期を迎えたい」と思っている入居者（3名の方）を医師と看護職員、介護職員等各種職員が連携して看取りをした。付き添いをされた家族からは、『最期立ち会うことが出来て感謝している』との言葉があった。

毎月ケア向上委員会として、各部署のリーダー以下の職員が集まり、職員の視点を通して勤

務環境の改善やケアの向上についての話し合いの場を設けた。必要時には上司に報告し、業務改善を図った。

入所申し込みについては、待機者の数は減少傾向である。新規入居申込者は年間で27名あったものの、待機中に特養等に入所されていたり、退院の見込みがないなどの理由でキャンセルされる方が多く、実際に入所した方を除くと待機者は39名（昨年度末より4名減）である。これから先も待機者、申込者の確保が引き続きの課題である。

3 介護福祉施設入所状況について

(1) 要介護度別入所者延べ人数

	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計(人)	平均(人)	利用率 (%)
H27年度	30	946	8,394	4,628	6,357	20,355	55.7	92.9
H28年度	0	395	8,975	5,540	5,198	20,108	55.0	91.8

(2) 入所状況（平成29年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)
豊北町	9	42	51
豊浦町	0	2	2
豊田町	0	3	3
その他	1	2	3
合計(人)	10	49	59

(3) 年齢別の状況（平成29年3月31日現在）

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
~69歳	2	0	2	4
70~79歳	3	1	4	7
80~89歳	3	18	21	36
90~99歳	1	25	26	46
100歳~	0	4	4	7
合計	9	48	57	100

最高年齢	男 92歳
	女 105歳
最低年齢	男 67歳
	女 73歳
性別平均年齢	男 80.7歳
	女 90.1歳
平均年齢	88.5歳

(4) 入退所の状況

退所者

No.	退所日	退所理由
1	平成 28 年 5 月 12 日	死亡 (施設)
2	平成 28 年 5 月 24 日	長期入院
3	平成 28 年 6 月 4 日	死亡 (施設)
4	平成 28 年 6 月 9 日	長期入院
5	平成 28 年 7 月 12 日	長期入院
6	平成 28 年 9 月 15 日	死亡 (病院)
7	平成 28 年 9 月 22 日	死亡 (病院)
8	平成 29 年 1 月 4 日	死亡 (施設)
9	平成 29 年 3 月 17 日	長期入院

入所者

No.	入所日	待機場所
1	平成 28 年 4 月 12 日	有料老人ホーム
2	平成 28 年 4 月 13 日	自宅
3	平成 28 年 4 月 21 日	自宅
4	平成 28 年 5 月 17 日	病院
5	平成 28 年 6 月 14 日	病院
6	平成 28 年 6 月 16 日	自宅
7	平成 28 年 7 月 5 日	老人保健施設
8	平成 28 年 7 月 19 日	グループホーム
9	平成 28 年 9 月 26 日	老人保健施設
10	平成 28 年 11 月 10 日	有料老人ホーム
11	平成 28 年 11 月 14 日	自宅
12	平成 29 年 1 月 19 日	自宅
13	平成 29 年 2 月 14 日	養護老人ホーム

(5) 日常生活の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食事	自立	6	18	24	42
	一部介助	2	15	17	30
	全面介助	1	15	16	28
排泄	自立	0	0	0	0
	一部介助	6	15	21	37
	全面介助	3	33	36	63
入浴	一般浴	5	18	23	40
	リフト浴	1	9	10	18
	特浴	3	21	24	42

(6) 給食の状況(平成28年度)

ア 栄養量等の状況

区分		エネルギー(Kcal)	材料費(給食1日単価)
1日当たりの平均 栄養量及び給食単価	28年度予定	1,400	680円
	28年度実績	1,416	701円

イ 保存食の状況

保存時間	336時間	保存方法	-20℃以下冷凍保存
------	-------	------	------------

ウ 食事時間と検食

区分	食事時間	検食時間	検食者
朝食	7:30	7:15	当直者
昼食	12:00	11:45	介護職員
夕食	18:00	17:45	介護職員

4 平成28年度に行った主な行事

行事名	実施月	内容
豊北吹奏楽団 定期演奏会	4月	豊北生涯学習センターにて豊北吹奏楽団の演奏を楽しんだ。
お花見お弁当 づくり	4月	地域交流スペースで入居者と共にちらしずし等のお弁当を作り、花を見ながら食べた。食後にカラオケ大会を催し、楽しいひと時を過ごした。
滝部小学校 運動会見学	5月	入居者と共に、運動会を見学、参加して過ごした。また、3月には卒業生にお祝いとして施設からノートをプレゼントした。
春外出	5月	各階で豊北の道の駅、だるま堂等に入居者と共に外出し、買い物と食事を楽しんだ。
家族会	6月	入居者と家族と意見交換を行い、昼食を入居者と家族とで一緒に食べてもらった。午後は喫茶で入居者、家族が一緒に過ごされた。
七夕	7月	豊北こども園園児と七夕の祝いを行った。
夏外出	7、8月	各階で豊北の道の駅、角島、豊浦町川棚等に入居者と共に外出をし、買い物と食事を楽しんだ。
お子様参観日 流しそうめん	8月	職員の子供さんを招待し、仕事の見学や車椅子の体験などを行い、特別養護老人ホームを知っていただいた。流しそうめんを入居者と一緒に食べ楽しい一時を過ごしていただいた。
夏祭り	8月	アスパアと合同で家族、地元住民、ボランティアを招いて行った。
敬老会	9月	アスパアと合同で地域交流スペースにて来賓を招いて記念品の贈呈、お祝いの演芸を舞踊ボランティア(藤由会)により行った。

秋外出	10、11月	各階でだるま堂、風車、豊北の道の駅、角島等へ外出し、買い物と食事を入居者と共に楽しんだ。
豊北こども園 運動会見学	10月	入居者、職員が運動会に参加をして楽しい時を過ごした。
下関市老人福祉施設 交流演芸大会	10月	菊川アブニールでの演芸大会に参加し、演芸を鑑賞して一時を過ごした。
ほうほく文化祭	11月	生涯学習センターに行き、豊北吹奏楽団と豊北高校吹奏楽部による合同演奏会を楽しんだ。
クリスマス会	12月	豊北こども園園児の遊戯を見たり、プレゼントを渡したりと交流を図った。また、各ユニット毎でも開催し、プレゼントを渡した。
忘年会 バイキング	12月	調理員が主体となってお寿司やさしみ、焼き鳥、おでん等のつまみ等のバイキングを行い、入居者と一緒に食事を楽しんだ。
餅つき会	12月	入居者と正月用の餅をつき、一緒に餅入りぜんざいを食べた。
どんど焼き	1月	12月についた餅をぜんざいにして入居者と食べて過ごした。
節分会	2月	ユニット毎に入居者・職員とで豆まきを行った。
うどん バイキング	2月	入居者に出来たてのうどんと好みの具材をトッピングして食べていただいた。
ボランティア 意見交換会	3月	喫茶ボランティアと喫茶の運営や来年度の運営方針、施設内のケアについて意見交換を行った。
ひな祭り	3月	各ユニット毎に行った。また、地域交流スペースでお雛様を見ながら手作りのお茶菓子と抹茶を飲んで一時を過ごした。
お楽しみ会	3月	豊北こども園園児と交流会を行い楽しんだ。また、一年のお礼にカップケーキをプレゼントした。
入居者職員 懇談会	8、12、3月	各ユニット毎に2度、全体会として1度行い生活向上の意見交換を行った。
消火避難訓練	5月、11月	日中と夜間想定の通報・消火・避難訓練を、豊浦西消防署豊北出張所の協力のもと行った。
喫茶	毎月第1、 第3水曜日	ボランティア主体で行った。
地域体操教室	毎月第1、 第3木曜日	地域の方達の介護予防運動教室の場所として、地域交流スペースを開放、利用して頂いた。
おやつ作り ユニット行事	各ユニット 毎に随時	ケーキ、団子、ホットケーキ等を入居者と職員とで季節に合わせたものを作り食べた。
美容の日	毎月	地域の美容組合の方が入居者の美容を行った。9月は敬老のお祝いで無料での実施だった。
食事作り	毎月	調理員が中心となり入居者の希望を聞きながら作れるメニューを考えて入居者・職員と昼食を作り一緒に食べた。
法話	4、6、8、 11、12、2、 3月	豊北町内、豊浦町内の浄土宗の副住職5名により1年間行った。

5 その他の事業

(1) 短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

	要支援 1(日)	要支援 2(日)	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計 (日)	利用率 (%)	空所に対する 利用率(%)
H27 年度	0	57	310	94	123	111	62	757	3.4	47.2
H28 年度	7	40	249	210	209	36	29	780	3.5	43.5

(2) 要介護認定調査業務(下関市委託業務)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6

6 家族等の面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日 平均
人数	273	313	249	321	319	253	349	289	219	324	207	320	3,436	9.4

※延べ人数

7 職員体制について(平成29年3月31日現在)

	現員(人)	平成28年度中における異動等		
		退職者(人)	採用者(人)	異動者(人)
施設長	1(1)			
事務職員	3			
生活相談員	1	1		
看護職員	3			
機能訓練指導員	1			
介護職員	23(3)	1		1
管理栄養士	1			
調理員兼務介護職員	1			
介護支援専門員	(3)			
常勤パート(介護職員)	6	2	3	
〃 (調理員兼務介護職員)	5			
臨時パート(配達員)	1		1	
〃 (看護職員)	1			

〃	(介護職員)	5(1)	2	1(1)	
〃	(介護支援専門員)	(1)		(1)	
〃	(調理員兼務介護職員)	2		1	
嘱託医師		1			
合 計		55(5)	6	6(1)	1

() の数字は他職種、アスピアとの兼務を指す

8 職員の会議

会議名	開催月	内容
職員会議	4、6、8、10、1、3月	連絡事項や研修の複伝、施設内研修を行った。
運営会議	毎月	施設経営、運営に関する会議を行った。
リーダー会議	毎月	行事確認、給食、入居者処遇会議等を行った。
ケアプラン会議	毎月	各職種が集まり介護力向上の理論を盛り込んだケアプランの検討を行った。
質の評価検討委員会	5、9、3月	山口県のサービス自己評価の様式を用い、1年間サービスの質の向上の為に活動した。
安全衛生委員会	毎月	労働中の危険及び健康障害の防止等について検討した。
ケア向上委員会	毎月	職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善についての話し合いを行った。

9 各種委員会の活動

委員会名	開催月	内容
事故発生・防止委員会	6、9、12、3月	事故予防等の検討を行った。
感染症対策委員会	6、9、12、3月	食中毒やインフルエンザ等の感染症予防等の計画や指針の策定を行った。
身体拘束等防止・監視委員会	毎月	身体拘束の事例の検討等を行った。
褥瘡対策チーム	毎月	入居者の褥瘡の状況について確認し、対応策の協議、検討を行った。
食事内容の検討会議	5、7、9、11、1、3月	食事内容の検討を行った。
医療的ケアの安全対策委員会	4、7、10、11、12、2月	痰の吸引、嚥下状態等について確認・協議した。

上記のとおり各種委員会を設置。その中でそれぞれの内容の検討、マニュアルの整備、見直し等を通して入居者の生活の質の向上、サービスを提供する各種職員の資質の向上に努めた。

10 施設外部研修会（参加した主な研修会）

	施設長	事務職員	生活相談員	看護職員	介護職員	専門員	介護支援 指導員	機能訓練	管理栄養士	介護職員 調理員兼	合計
山口県老人福祉協議会 運営研修会	1										1
不在者投票事務研修会		1									1
老人福祉施設 レクリエーション研修					1		1				2
山口県老人福祉施設協議会 相互研修会		1	1	1	1		1	1			6
老人福祉施設中堅職員 (第1部)研修					2						2
介護力向上講習会					1						1
介護支援専門員更新研修			1			3					4
山口県老人福祉施設 リーダー研修会				1							1
嚥下食実践セミナー								1			1
山口県身体拘束ゼロ推進員 養成研修			1								1
老人福祉施設給食担当職員 研修会								1			1
社会福祉法人会計研修会 (新任研修)		2									2
制度改革対応セミナー (前期)	1										1
老人福祉施設中堅職員 (第2部)研修				1							1
タウンミーティング	1										1
社会福祉法人会計研修会 (現任研修)		1									1
助成金活用セミナー	1										1
老人福祉施設長研修	1										1
老人福祉施設 リハビリテーション研修					1						1
制度改革対応セミナー (前期)	1										1
特定給食施設等研修								1			1

社会福祉法人会計実務者決算講座		2								2
社会福祉法人会計研修会 (決算実務研修)		1								1
施設長研修会	1									1
合計	7	8	3	3	6	3	2	4	0	36

介護支援専門員は介護職員と兼務